

若松 事業系一般廃棄物減量化モデル事業

有料ごみ袋 マーク募集

申し込み31日まで

会津若松市で十月から事業系一般廃棄物の減量化モデル事業を始める会津環境保全研究会（渡部伸久会長）は、活動の柱となる有料ごみ袋のシンボルとして印刷されるマークを募集している。

マークの募集は、一般（中）の中で、A4判の白い紙に正（職業、年齢（学年）、電話番号を明記の上、三十一日までに郵便番号九六五―八七九九、会津若松郵便局留、会津環境保全研究会「デザイン公募係」に申し込む。作品は事業系一般廃棄物や収集運搬などを添える。

同市に在住、在勤、在学縮小、単色印刷が可能でも中なら誰でも応募できる。



有料ごみ袋のマークを募集するポスター

賞金・賞品は一般が最優秀賞三万円、入賞一万円、ジュニアは最優秀賞図書カード一万円分、入選図書カード二千円分を贈る。

応募方法は、氏名、住所、職業、年齢（学年）、電話番号を明記の上、三十一日までに郵便番号九六五―八七九九、会津若松郵便局留、会津環境保全研究会「デザイン公募係」に申し込む。問い合わせは同会（電話0242-295388）へ。同モデル事業は十月から三カ月間、同研究会の収集運搬業者三社と賛同する事業所が連携し行う。ごみ袋の有料化で排出ごみの削減を目指すほか、収集運搬業者が地域別に作業を分担することで効率化を図る。